

病日	入院～	手術前日	手術当日（術前）
安静	ベッド上の安静になります 痛みにあわせてベッドをあげることはできます		
観察	全身状態・患部の状態を観察します		
食事	制限はありません	21 時以降飲食は禁止になります	
清潔	看護師の介助で身体を拭いていきます		
排泄	ベッド上で排泄します	夕食後、浣腸を行います	
処置・診察	下肢に血栓予防の機械またはストッキングをはきます		
		爪切りを行います	
リハビリ	理学療法士によるリハビリを行います		
検査			
薬物療法	持参薬の確認をします		指示がある場合、少量の水で内服します
			午後の手術の場合、持続点滴を行います
	痛みにあわせて鎮痛剤を使用することができます		
説明	看護師より入院について、パスについて説明があります	看護師より手術前後の注意点について説明があります	
	医師より手術について説明があります		
指導	看護師より血栓のリスク・予防について説明があります		
目標	1 体調を整え手術に臨める 2 腓骨神経麻痺を起こさない		

症状、経過によっては予定通りにならない場合があります

病日	手術当日（術後）	1 日目	2 日目
安静	ベッド上の安静になります	車椅子に乗ることができます 痛みにあわせて手術をした足に体重をかけてもかまいません	
観察	全身状態・患部の状態・出血の状態を観察します		
食事	おなかの動きが確認できたら飲水することができます	朝食より再開します	
清潔		看護師が介助して身体を拭きます	
排泄	尿の管が入ってきます	全身状態をみながら尿の管は抜いていきます 車椅子に乗れたらトイレに行くことができます	
処置・診察	下肢に血栓予防の機械をつけます	下肢に血栓予防のストッキングをはきます 患部の状態に合わせて消毒をします	
リハビリ		病棟でのリハビリがあります	リハビリ室・病棟でのリハビリがあります
検査		採血があります	
薬物療法	持続点滴を行います 抗生剤の点滴を 1 回 行います	持続点滴を行います 抗生剤の点滴を 2 回 行います	抗生剤の点滴を 2 回行います
	痛みにあわせて鎮痛剤を使用することができます		
説明	看護師より手術後の 注意点について説明が あります		
指導			
目標	3 疼痛のコントロールができる 4 腓骨神経麻痺を起こさない 5 創感染を起こさない		
		6 活動範囲が拡大する	

症状、経過によっては予定通りにならない場合があります

病日	3日目～10日目	11日目～14日目（退院）	
安静	車椅子に乗ることができます 痛みにあわせて手術をした足に体重をかけてもかまいません		
観察	全身状態・患部の状態・出血の状態を観察します		
食事	制限はありません		
清潔	抜糸するまでは患部を保護してシャワーに入ります 抜糸後は保護なしでシャワーに入ります		
排泄	トイレに行くことができます		
処置・診察	患部の状態に応じて消毒・抜糸を行います 抜糸は7～10日目		
	下肢に血栓予防のストッキングをはきます		
リハビリ	リハビリ室・病棟でのリハビリがあります		
検査	採血・レントゲンを行います（7日目）		
薬物療法	痛みにあわせて鎮痛剤を使用することができます		
説明	転院先に診療情報提供書をFAXします（5日目）		
指導			
目標	3 疼痛のコントロールができる 4 腓骨神経麻痺をおこさない 5 創感染を起こさない 6 活動範囲が拡大する	7 脱臼・感染・重度貧血がない 8 疼痛コントロールができる	

症状、経過によっては予定通りにならない場合があります